



水への恩返し Carrying Water Project

【発信日】令和2年8月14日

【問合わせ先】

水のがっこう（大野市明倫町3-42）

産経建設部建設整備課湧水再生対策室

松田 今村 電話 64-4813

水がきた！こどもの笑顔が絵本になりました

～ユニセフとえがおのひみつ～

幼稚園・保育園から小学校低学年までの子どもを対象とした絵本「ユニセフとえがおのひみつ」が日本ユニセフ協会から発刊されました。絵本には3人の主人公が登場します。そのうちの一人、家に水道がなくて、毎日山の向こうまで水を汲みに行く東ティモールのディアナちゃんは、大野市の水支援で出会った女の子をモデルに書かれました。世界の子どもたちの現状や、皆さんからの募金が、どのような支援につながっているのかを絵本を通して学ぶことができます。

絵本は水のがっこうに設置しますので、いつでも手に取ってご覧いただけます。

つきましては、市民をはじめ、多くの皆さんにご来館いただき、絵本を見ていただけるよう周知にご協力をお願いいたします。

記

1 東ティモールのディアナちゃんのお話の概要

村に水が引かれていなかった頃は、毎日何度も山の向こうまで水汲みに行っていました。茶色く濁った水を飲み、お腹を壊したこともありました。水が村に引かれてからは、きれいで透明な水がいつでも使え、体を洗ったり洗濯ができるようになりました。村では病気が減り、野菜を育てられるようになりました。花を育てることが夢だったディアナちゃんは、家の周りいっぱい咲き誇る花に水をやり、笑顔になりました。

2 絵本の内容 東ティモールのディアナちゃんの外、栄養が足りず、病気にもかかってしまった南スーダンのアデュちゃん、争いから逃げて難民になったミャンマー出身のロヒンギャ（民族）のモンズールくんのお話があります。すべて実在する子どもがモデルとなっています。

3 その他 大野市の東ティモール視察に同行した日本ユニセフ協会の職員が絵本作りに参加しました。裏表紙には大野市の取り組みが紹介されています。絵本をご希望の方は、日本ユニセフ協会のホームページ（www.unicef.or.jp）から請求できます。（1冊まで無料、2冊目以降1冊140円）。

